

## お墓をキレイにしませんか？

～ お墓を大切に守りましょう～

有限会社 福井石材  
代表取締役 福井 基紘

## お盆にお墓参りへ行かれたか？

今年もお盆には多くの方がお墓参りに行かれたのではないのでしょうか。比較的墓地が近くにあり、日頃からお参りできる方は良いのですが、遠方でたまにしかお墓に来られない方にとっては、ご先祖様に近況を報告し、感謝を表すことのできる、とても大事な行事だったのではないかと思います。



しかし、それもお墓が建っているから行えることであって、残念なことです。ある日突然お墓が倒れ、お墓参りができなくなってしまうことがあります。

## お墓は倒壊してしまうことがあります

その原因のひとつは地震です。今年4月に起きた熊本地震では、被災した熊本市の市営墓地で、墓石全体の6割にあたる約1万基が倒壊してしまったそうです。その他の巨大地震でも、多くの墓石が倒壊したという事例が報告されています。自然の力は強大で、私たちの想像をはるかに超えた力で襲ってきます。少しでも食い止めようと、墓石業界も動いております。

具体的には、墓石を建てていく際、少しでも地震の揺れに耐えられるような耐震施工へと変えていっています。従来、墓石を組み上げていく段階で、石と石の間はノロ（セメントを水で溶いたもの）でくっつけていました。しかし、このノロに接着能力はあまりなく、衝撃を与えると剥がれてしまいます。なので、近年は、ここに耐震施工用の接着剤を使うようになっています。この接着剤は接着能力も高く、かつ粘りがあり、揺れにも強いので、従来に比べ耐震

強度は上がったと言えます。なお、現在建っているお墓も耐震補強工事は行えますので、もし気になった方がおられましたら、是非お近くの墓石店に見積もりを依頼することをオススメします。

## お墓の土台をご確認ください

もうひとつ耐震補強に大事なことは、お墓の土台部分を補強することです。お墓は石ですので、当然重たいです。その重たい石が弱い土台の上に乗っていたら、地震の際、倒れてしまう可能性は大きいと思います。自然石で組んである土台などは、少し古いお墓だと主流ですが、危険な場合が多いです。（写真参考）



特に山の斜面に建つお墓は、雨で土が流れてしまい、いつの間にか土台がグラグラ、なんてこともありますので、注意して見てみるのも良いと思います。

せっかくご先祖様が残してくれたお墓が、無残な姿になる前に、耐震工事をし、少しでも長くお墓を守って行ってください。その手助けをすることが私たち石屋の使命です。土台を直し、綺麗に組み直したお墓を見れば、きっと気持ちも晴れて、悩みも吹き飛ばさかもしれません。気持ちを鎮め、心を整理して、気分を一新してください。新しい明日があなたに訪れることでしょう。ご先祖様はきっとあなたを守ってくださいます。